

イモビ対応アダプター Be-IL501 取扱説明書

F822150

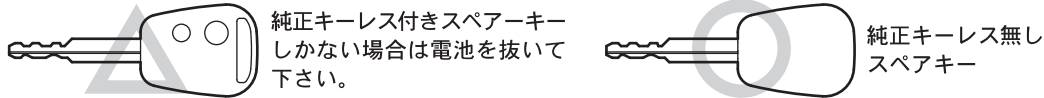
はたらき

本製品に電子IDスペアキーを内蔵することによって弊社のリモコンエンジンスタートビータムシリーズ※1でイモビライザー装備車のエンジン始動をさせることができます。また、電子IDスペアキーを内蔵した状態でも万一、不審者にキー溝（電子ID無し）をコピーされたとしてもそのキーではエンジン始動できない方式を採用しています。

※1 対応機種 詳しくは最新の弊社「車種別専用ハーネス適合表」をご覧ください。
「ビータム」A-7#シリーズ、A-8#シリーズ、それ以降の新シリーズ、「守護神」SS-450

注意

- 本製品を取付けるにはイモビライザー解除可能な電子IDスペアキー（以下スペアキー）が1個必要です。スペアキーのお求めはお近くのカーディーラーへお問い合わせ下さい。また、純正キーレス付きマスターキーを代用することはおすすめできません。キーに内蔵された電池の液漏れ等により本製品やマスターキー等の故障の原因になります。（純正キーレス付きスペアキーしかない場合は、電池を抜いてご使用下さい。）



- 防犯性を高めるために電子IDスペアキー溝の先端部を必ずヤスリ等で削って下さい。この作業を行うことにより、キーとして使用出来なくします。
- 本製品を取付け後に、万一車両盗難、車上あらしに遭われても、弊社では一切の責任を負いません。
- 本製品は、エンジンスタートで作動中のみ一時的にイモビライザー機能を解除します。ご契約されている一部車両保険では盗難保険等の契約に支障をきたす可能性がありますのでご契約の保険会社へ必ずご確認下さい。
- 本製品の取付けには専門知識が必要です。必ず専門の取付け業者へご依頼願います。

配線に必要な工具

- ドライバー ■ニッパー ■カッター ■ヤスリ ■スパナ又はボックスレンチ ■テスター ■プライヤー ■絶縁テープ

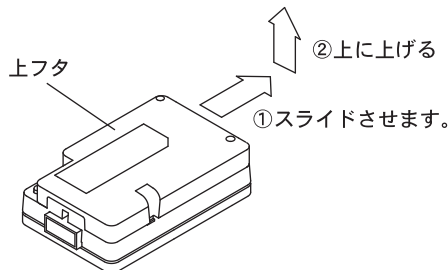
セット内容

※()内の数字は個数を表します。

- イモビアダプター本体 (1個) ■イモビハーネス (1本) ■ネジ (2個) ■インシュロック大 (1本) ■インシュロック小 (2本) ■エレクトロタップ大 茶色 (1個) ■両面テープ (2枚)

取付け方法

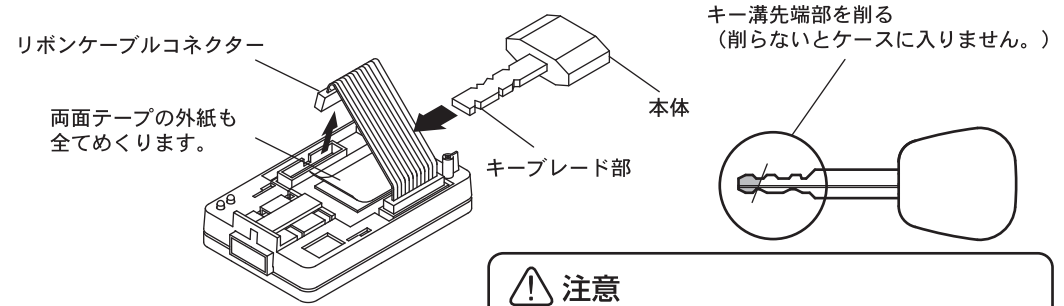
- 1 上フタを下図のようにスライドさせて上にあげて取外します。



注意

スライドさせずに無理やり上にフタを上げると上フタのツメが折れますのでご注意ください。

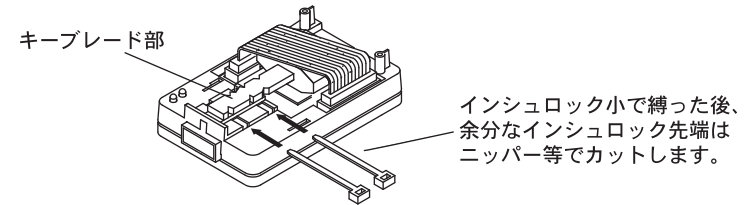
- 2 リボンケーブルコネクタをどちらか片側だけ外し、両面テープの外紙を全てめくりず。スペアキーの本体部分を両面テープにしっかり固定した後、リボンケーブルを接続します。



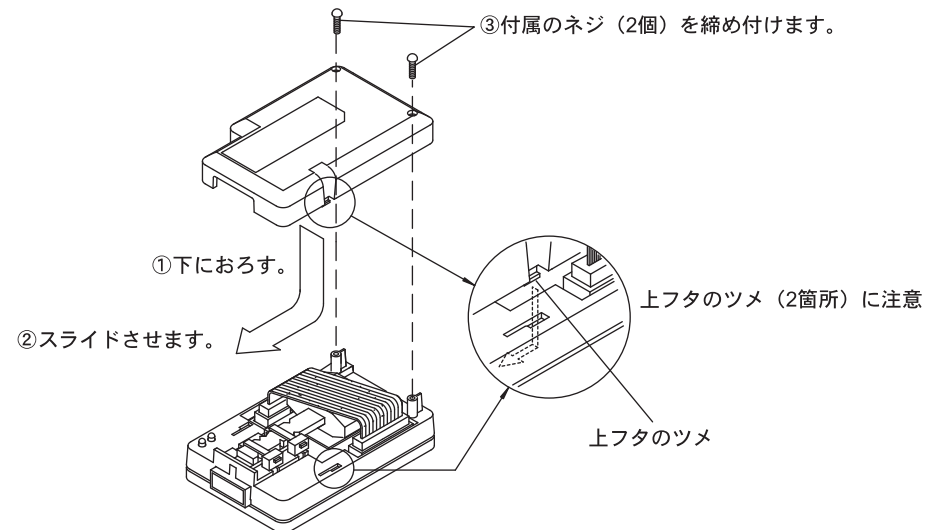
注意

- 防犯性を高めるために、必ずキー溝先端部をヤスリ等で削って下さい。この作業を行うことによりキーとして使用出来なくなります。
- リボンケーブルを外した状態ではリモコンでエンジン始動しません。

- 3 下図のようにスペアキー本体を入れた状態でインシュロック小を必ず2箇所通し、キーブレード部（金属）をしっかり固定します。※コネクタの抜けがないか確認



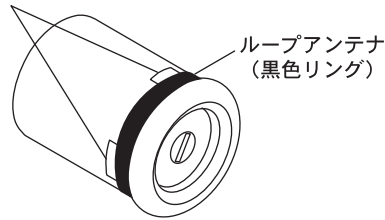
- 4 上フタを下図のように本体に取付けた後、付属のネジで締め付けます。



5 車種によってキーシリンダー形状が異なるため、付属イモビハーネスのループアンテナ（黒色リング）の取付け方が異なります。車種ごとの取付け方及び注意事項につきましては、別紙「車種別配線図」をご覧ください。最新の情報については弊社「車種別専用ハーネス適合表」記載のFAX BOXサービス資料でお確かめ願います。

※1 両面テープはハサミ等で適当な長さに切って貼って下さい。

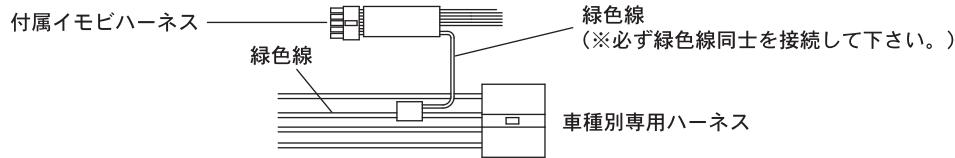
付属の両面テープ※1
(テープを2重、3重に重ね貼りしないで下さい。)



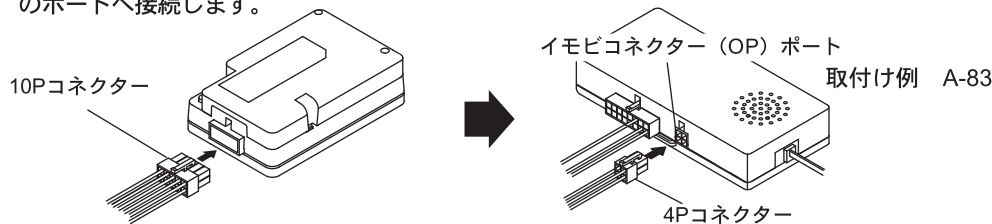
△ ループアンテナについて
ループアンテナが適切な位置に固定されていないとスベアキーからのイモビライザー信号が通信出来ないため、リモコンでエンジン始動は出来ません。
車種によってループアンテナの取付けに関する注意事項が異なります。別紙「車種別配線図」をご覧ください。該当車種の資料が無い場合、弊社「車種別専用ハーネス適合表」記載のFAX BOXサービス資料でお確かめ願います。

6 付属イモビハーネスから出ている緑色線を車種別専用ハーネスから出ている緑色線にエレクトロタップ大（茶色）で接続します。

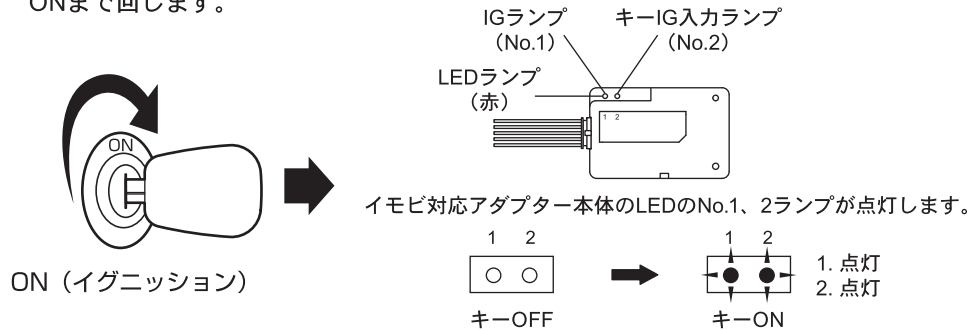
緑白のストライプ線には絶対に接続しないで下さい。



7 付属イモビハーネスの10Pコネクタをイモビアダプター本体に差し込みます。次に、付属のイモビハーネスの4Pコネクタをビータムメインユニットの「イモビアダプター (OP)」のポートへ接続します。



8 ビータムエンジンスタートを取付後、エンジンを停止させた状態でマスターキーでONまで回します。

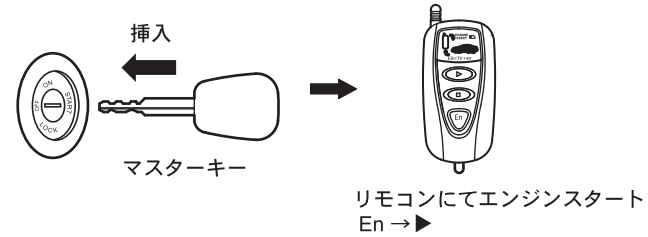


No.1、2が点灯しない場合は **6** 又は **7** の項目を再確認して下さい。

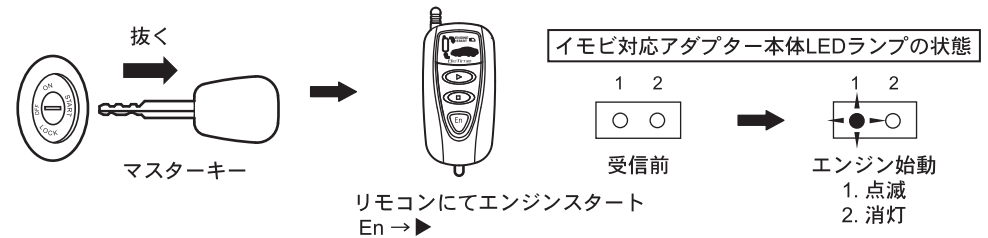
No.1、2ランプが点灯したら、キーをOFFに戻して下さい。

9 エンジンスターターのID登録を行い、カーテシ配線をしている場合はドアを閉じた状態でリモコンでエンジン始動させ、動作確認を行います。

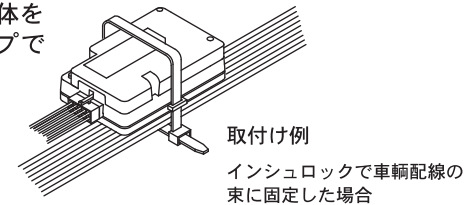
① マスターキーをキーシリンダーに挿入した状態でリモコンでスタートして下さい。その状態でエンジン始動しない場合はエンジンスターターの配線を確認して下さい。



② ①の動作で正常にエンジン始動できる場合は、エンジンを停止 (EN→■) させマスターキーを抜いてもう一度リモコンでスタート (En→▶) して下さい。エンジン始動し、イモビ対応アダプター本体のLEDランプが下記の状態になれば正常です。



10 動作確認後、正常であればイモビアダプター本体を付属のインシュロック大又は付属の両面テープで車輻に固定します。



故障かなと思ったら

症状	イモビアダプター本体 LEDランプ	考えられる原因と対策
リモコンでエンジン始動しない	1 2 ● ○ 点灯	① スベアキーが入っていない又はリボコネクターが外れている。 対策 スベアキー又はリボコネクターを入れて下さい。 ② 付属イモビハーネスが車輻に接続されていない。 対策 付属イモビハーネスが接続されているか確認して下さい。 ③ ループアンテナが通信していない。 対策 ループアンテナがずれていないか確認して下さい。
	1 2 ● ● 点灯	① 付属イモビハーネスの緑色線が車種別専用ハーネスの緑色線に接続されていない。 対策 付属イモビハーネスへ緑色線を車種別専用ハーネスの緑色線に接続して下さい。
	1 2 ○ ○ 消灯	対策 6 、 7 及びスターターの取付を確認。
	1 2 ○ ● 点灯	対策 故障の可能性があります。弊社 サービス部へお問合せ下さい。

車種別配線図／取説補足図

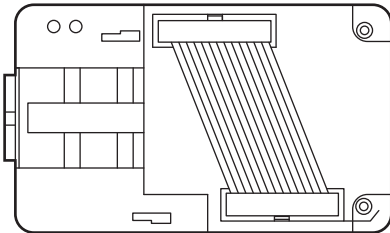
車種につきましては、弊社「車種別専用ハーネス適合表」で適合が取れているかご確認下さい。
取付け可能車種によりFAX BOXサービスの資料で確認することができます。

取付け参考車種（車輻グレードによってキーの形状、仕様等が異なる場合があります。）

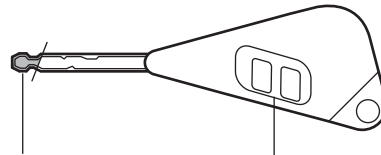
メーカー	車名	型式	年式
スバル	レガシー2.0GT	BL/BP系	H15.5～

取扱説明書 2 の補足説明

スペアキーを下図の向きで本体ケースに入れます。

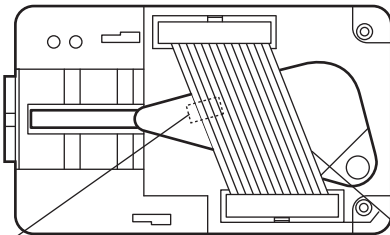


レガシー（2.0GT）の場合、純正キーレス付きの電子IDスペアキーしか用意されていません。イモビ本体ケースにスペアキーを収納するときは必ず、内蔵電池を取り出して下さい。



防犯性を高めるために必ずキーが使えない様にキー溝先端をカットします。

ドアロック／アンロックボタンを上にします。



イモビ通信部品（左図 点線部分）がリボンケーブルにかかるように、キー位置を配置して下さい。

スペアキー内蔵イモビ通信部品 **キー収納状態** リボンケーブル

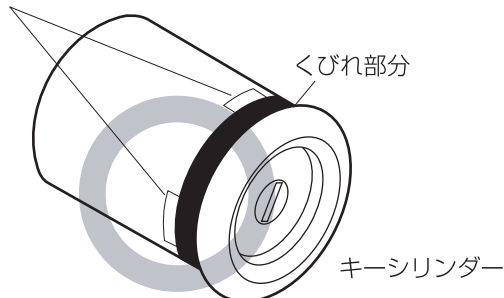
取扱説明書 5 の補足説明

付属ハーネスのループアンテナをキーシリンダーに巻つけ、両面テープで動かないように固定します。

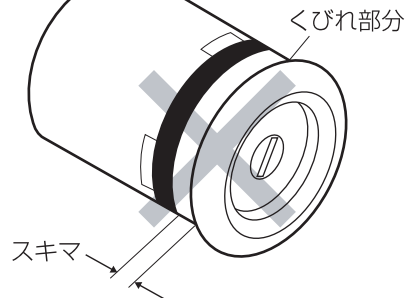
⚠ ループアンテナについて

ループアンテナが適切な位置に固定されていないとスペアキーからのイモビライザー信号が通信できないため、リモコンでエンジン始動できません。

両面テープ ※1



ループアンテナはたるみの無いようにまとめて下さい。



⚠ **ここが重要** キーシリンダーのくびれ部分にピッタリとループアンテナが付くように固定します。

※1 両面テープはハサミ等で適当な長さに切って下さい。ループアンテナがずれないように、等間隔で3～4ヶ所貼って下さい。（2重、3重に重ね貼りしないで下さい。）

※ ループアンテナがくびれ部分から離れないようにしっかり固定して下さい。